

2014年度

JICA研修コースの実績紹介

「民生部門の省エネ推進(A)」



2015年6月20日

(公財) 北九州国際技術協力協会 研修部

1. 研修コースの紹介

1) コースリーダー / 川口 健二



2) 研修コース 名

- 和文：平成26年 民生部門の省エネ推進(A)
- 英文：Promotion of Energy Conservation in Commercial and Residential Sector (B) JFY2014

3) 研修受入れ期間： 2014/9/21 ~ 2014/11/12

4) 参加研修員： 6名 (5カ国)

参加国内訳

- ①アルジェリア ②エジプト_2名 ③セルビア ④トルコ ⑤ウクライナ

【参加研修員の国名と位置】



Welcome to
JICA/KITA



世界各地から派遣された研修員の皆さんが、北九州市
(JICA九州)に集まり「民生部門の省エネ推進A」に関する
技術研修に参加しました。

アルジェリア民主人民共和国



エジプト・アラブ共和国



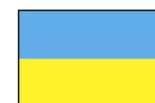
セルビア共和国



トルコ共和国



ウクライナ



2. 研修目標

案件 目標

研修員は、自国の民生部門(ビル・住宅・商業施設)の省エネに関わる政策案・省エネ活動を提案できる。

自国での実施



日本での研修

単元目標Ⅰ

:日本の省エネ政策の全貌及びビル・住宅への省エネ施策を理解し、自国の民生部門の省エネ政策・活動を立案・提言が出来るようになる。

単元目標Ⅱ

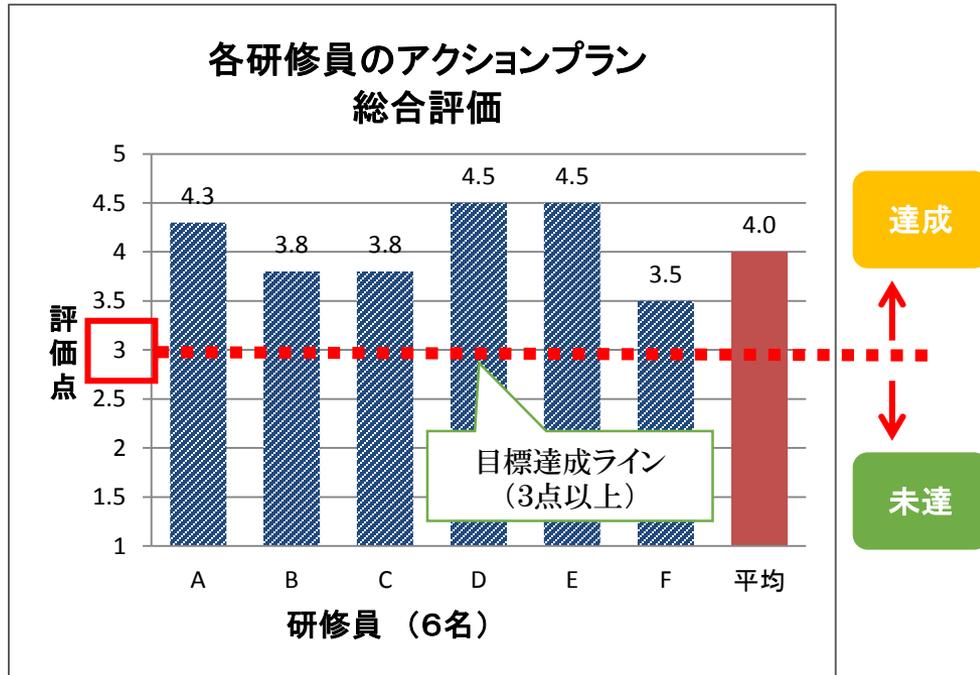
:ビル・住宅の省エネに関する技術を習得し自国の実行可能な政策立案や省エネ活動に役立てることが出来るようになる。

単元目標Ⅲ

:研修の成果を応用して問題解決のための現実的なアクションプランが作成される。



3. 研修員の達成度



上表に示す通り、評価者の研修員平均が4.0点となり、全員が案件目標(3点以上)をクリアしたと評価されました。

◆評価指標

・アクションプランの評価

①課題の明確化

自国のエネルギー資源や消費の動向、及び民生部門のエネルギー効率化への取り組みの現状を整理して、目標との差、すなわち問題点とその原因が明らかになっていること。

②解決策と行動計画

明確にされた課題の解決策として「研修成果を反映した」「実現性のある」「具体的な行動計画」がアクションプランとして纏められていること。

上記を盛り込んだ「アクションプラン」を発表会で発表して参加者の評価(5点満点)を受け、3点以上を目標達成とする。

4. コースリーダーの所感

- 今回の研修コースは、研修員数が6名と少数だったので最初は少し寂しく感じていましたが、終始真摯な明るい態度で研修に取り組んでいた彼ら一人一人との接触時間が多くなり、それぞれの実情を今まで以上により深く理解することができ充実した研修期間でした。
- 今回で本コースは、(A)と(B)を合わせて計5回を数えることになりますが、研修員の国情や直面している課題についての理解が相当深まってきたと感じると共に発展途上国の省エネの主要対象は「民生部門」であるとの当初の認識が的を得ていたと言う思いを深めています。
- 次年度から本コースの新たなシリーズが開講されますが、これまでの蓄積を反映させたより有意義な研修コースを提供すべく鋭意検討を加えたいと思います。
- 日々の円滑なコース運営に腐心されたコーディネーターの原田様のご尽力やJICA九州の内田様はじめ研修運営にご協力いただいた研修先各位のご支援、そしてハードな日程にも関わらず紳士的に規律正しく対応してくれた研修員各位のご協力に衷心よりお礼を申し上げます。

5. 研修員スピーチ

研修員の感動スピーチ (於：閉講式)



閉講式でスピーチされたケマルさん(トルコから参加)

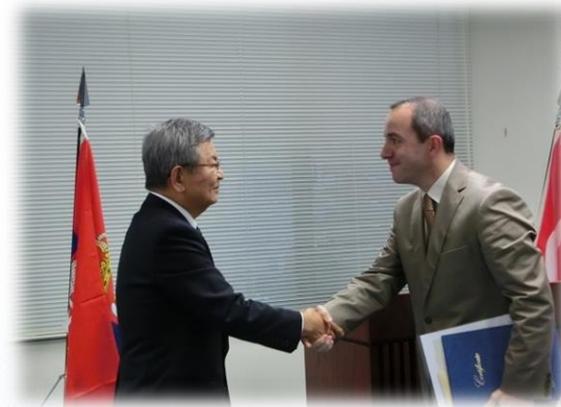
Mr. CAKAR Kemal (通称:ケマルさん)の謝辞 ～研修員代表～

◆和訳全文をご紹介します。

- J I C Aからご出席いただいている皆様
(天池様、内田様、原田様)
- K I T Aからご出席いただいている皆様
(古野理事長、上野様、植山様、川口様)
- そして、親愛なる研修員の皆さん、

「民生部門省エネ推進」コースに参加する機会を与えてくださったことに、研修員を代表して心から深謝の気持ちを申し上げます。

私たちの感謝の気持ちは、全ての日本の人々に、日本政府に、J I C A及びK I T Aに、また私たちの研修を可能にしてくれたばかりでなく、成功に導いて頂きました全ての方にも捧げたいと思います。



古野理事長より修了証書を授与されたケマルさん

この研修コースには、5つの異なる国から6人の研修員が参加しています。5カ国というのは、アルジェリア、エジプト、セルビア、トルコそしてウクライナです。

プログラムの主題に関しては、省エネに関してこの50日の間に、私たちは多くのレクチャー、視察、グループ演習、そしてガイダンスセッションを受講しました。これら全ては、学習するのに最適な環境と相まって、私たちの知識を深め、問題の観点を広げてくれました。



研修のプログラムは、省エネに関わる多くの異なったアспектを含んでいました。たとえば、日本の省エネ政策の背景や現状、エネルギーに関する法律体系、省エネ対策、エネルギー管理基準、エネルギーに関わる診断、建築物に対する規則、SMEにおける省エネ政策等です。各講義は、空調システム、流体機械、インバータ、太陽光発電、ヒートポンプそして電灯装置に関連する省エネの技術面に関するプログラムが含まれていました。一生懸命研修に励む私たちは多くの視察の機会に恵まれ、私たちの方も研鑽を重ね、今では視野を広げ、省エネ政策に関して対処能力を向上させることができました。

また私は技術者の方や担当の方、専門家また実務家の方から、講義で学ぶ以上の情報や説明をいただくことのできた研修旅行に、非常に感銘を受けています。

私たちはこの研修プログラムが明確に求めている目的の、かなりのレベルにまで到達したと考えています。研修員全員が、自国で、省エネ対策を向上させたり、実施するに際して、経験や将来への方針、問題やそれに対する方策を話し合い共有しました。次は、計画ではなく行動に移るときです。

この点において、私たちは、私たちを受け入れてくださり、この問題について情報をくださった全ての講師の方、全ての人々に、心から感謝の気持ちを捧げたいと思います。すべてのセッションは興味深くそして私たちにとって大変有益なものでした。

研修員を代表して、私は日本の文化をより深く知るための好機を得ることのできたホームビジットや多くの活動を企画してくださったJICAとKITAの方々に深謝を表したいと思います。私たちは、神社仏閣、古民家を訪れ、伝統的な衣装を着せてもらい、好みの日本の食べ物を味わいました。箸の使い方も覚えました。



日本食を楽しむ研修員



サッカー観戦を楽しむ研修員

「最初の印象は最後まで続く」とはよく言われることです。今この場で、JICAとKITAの関係皆様に、温かい歓迎、時間通りのスケジュールリング、もてなし、そして最後まで続いたご配慮に対して、本当に感謝の気持ちを表したいと思います。JICAは、私たちにとって、最初の日本における懐かしい故郷です。私たちはここで受けたもてなしや親切な行為を決して忘れないと思います。

また、私たちのコースリーダーであるカワグチさん（川口CL）、そして通訳のハラダさん（原田CDN）に特別な感謝を捧げたいと思います。お二人は研修の間ずっと私たちを導いてくださいましたし、また私たちの研修がうまくゆくよう取り計らってくださいました。



企業訪問
(前列左が川口コースリーダー)



企業訪問
(前列左が原田コーディネーター)

「本当にありがとうございました」

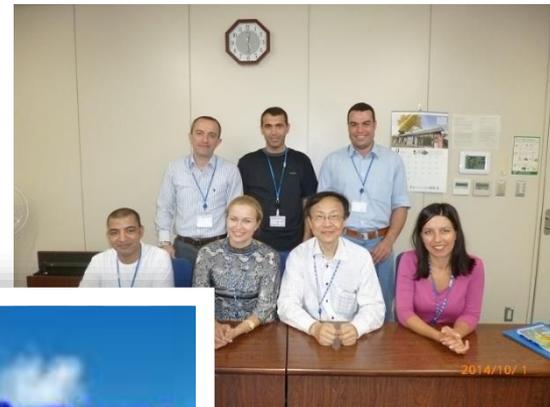
Thank You Very Much Domo Arigato Gozaimasu

6. 研修思い出アルバム

ジョブレポート発表会



JICA九州で講義



スライドショー

クリックして写真集を
ご覧下さい

企業訪問研修



国際親善

